

平成28年

○東京学芸大学特任教員選考要項の一部を改正する要項

改正理由

選考手続や記載内容をより明確にするため、所要の改正を行うものである。

承認経過

平成28年3月23日 教育研究評議会 審議・承認

東京学芸大学特任教員選考要項の一部を改正する要項を次のように制定する。

平成28年3月24日

国立大学法人東京学芸大学長

出口利定

東京学芸大学特任教員選考要項の一部を改正する要項

東京学芸大学特任教員選考要項(平成18年12月7日制定)の一部について、別紙新旧対照表の右欄を、左欄のように改正する。

東京学芸大学特任教員選考要項の一部改正について

改正理由：選考手続や記載内容をより明確にするため、所要の改正を行うものである。

改 正 (案)	現 行
<p>[省略]</p> <p>(選考)</p> <p>第3条 各教室において、特任教員の配置を必要とするときは、特任教員の配置申請について(様式第1)により、当該教室が所属する群を所管する学系長を通じて、学長に配置申請を行い、教員人事委員会の承認を得なければならない。</p> <p>2 特任教員の選考は、教授会の選考した候補者のうちから、学長が行う。</p> <p>(選考手続等)</p> <p>第4条 前条に規定する特任教員候補者の選考は、特任教員候補者選考委員会(以下「選考委員会」という。)が候補者として選考した者のうちから、当該学系の教授会(以下「教授会」という。)が行う。</p> <p>2 選考委員会における候補者の選考は、単記無記名投票による委員(委員長を除く。)の3分の2以上の賛成票をもって行う。</p> <p>3 前項の選考に当たり、選考委員会委員長は、全候補者一覧(様式第2)を作成のうえ、選考を行わなければならない。</p> <p>4 選考委員会委員長は、前項により候補者を選考したときは、特任教員候補者選考調書(様式第3)により、その選考に至った経緯を速やかに教授会に報告し、選考に付さなければならない。この場合において、選考結果の報告は、委員長の指名する委員が行うことができる。</p> <p>5 教授会における特任教員候補者の選考は、教授会において単記無記名投票による出席教授会構成員の3分の2以上の賛成票をもって行う。</p> <p>6 第1項の規定にかかわらず、現に本学の専任の大学教員として勤務する者及び本学の専任の大学教員として勤務したことのある者並びに特任教員として選考されたことがある者については、在職時と同じ職名相当で選考する場合の</p>	<p>[省略]</p> <p>(選考)</p> <p>第3条 各教室において、特任教員の配置を必要とするときは、特任教員の配置申請について(様式第1)により、当該教室が所属する群を所管する学系長を通じて、学長に配置申請を行い、教員人事委員会の承認を得なければならない。</p> <p>2 特任教員の選考は、教授会の選考した候補者のうちから、学長が行う。</p> <p>(選考手続等)</p> <p>第4条 前条に規定する特任教員候補者の選考は、特任教員候補者選考委員会(以下「選考委員会」という。)が候補者として選考した者のうちから、当該学系の教授会(以下「教授会」という。)が行う。</p> <p>2 選考委員会における候補者の選考は、単記無記名投票による委員(委員長を除く。)の3分の2以上の賛成票をもって行う。</p> <p>3 前項の選考に当たり、選考委員会委員長は、全候補者一覧(様式第2)を作成のうえ、選考を行わなければならない。</p> <p>4 選考委員会委員長は、前項により候補者を選考したときは、特任教員候補者選考調書(様式第3)により、その選考に至った経緯を速やかに教授会に報告し、選考に付さなければならない。この場合において、選考結果の報告は、委員長の指名する委員が行うことができる。</p> <p>5 教授会における特任教員候補者の選考は、教授会において単記無記名投票による出席教授会構成員の3分の2以上の賛成票をもって行う。</p> <p>6 第1項の規定にかかわらず、現に本学の専任の大学教員として勤務する者及び本学の専任の大学教員として勤務したことのある者並びに特任教員として選考されたことがある者については、在職時と同じ職名相当で選考する場合の</p>

み、選考を省略するものとする。

- 7 学系長は、特任教員候補者を選考（前項により選考を省略した候補者を含む。）したときは、特任教員候補者選考調書（様式第3）（前項の規定により選考を省略した場合は除く。）及び特任教員候補者選考結果報告書（様式第4の1）（前項の規定により選考を省略した場合は、特任教員候補者選考結果報告書（様式第4の2）により、選考結果を学長、教員人事委員会及び教授会に報告しなければならない。
- 8 教授会は、必要と認めるときは、選考委員会に再審査を行わせることができる。
- 9 第4項に規定する賛成票を得ることのできなかつた者は、当該議決後1年を経過するまでの間、同一職名相当以上の候補者となることができない。

〔省略〕

（選考結果報告）

第7条 学長は、候補者の採用等を決定したときは、特任教員選考結果報告書（様式第5）により、教育研究評議会に報告するものとする。

〔省略〕

附 則

この要項は平成28年4月1日から施行する。

み、選考を省略するものとする。

- 7 学系長は、特任教員候補者を選考（前項により選考を省略した候補者を含む。）したときは、特任教員候補者選考調書（様式第3）（前項の規定により選考を省略した場合は除く。）及び特任教員候補者選考結果報告書（様式第4）により、選考結果を学長及び教員人事委員会に報告しなければならない。
- 8 教授会は、必要と認めるときは、選考委員会に再審査を行わせることができる。
- 9 第4項に規定する賛成票を得ることのできなかつた者は、当該議決後1年を経過するまでの間、同一職名相当以上の候補者となることができない。

〔省略〕

（選考結果報告）

第7条 学長は、候補者の採用等を決定したときは、教員選考結果報告書（様式第5）により、教育研究評議会に報告するものとする。

〔省略〕

様式第1

第 号
平成 年 月 日

東京学芸大学長 殿

〇〇〇学系長 印

特任教員の配置申請について

下記のとおり，特任教員の配置を申請します。

記

1. 配置を必要とする教室
2. 配置を必要とする理由
3. 特任教員採用予定日
4. 職務内容（担当業務等）
5. その他
6. （削除）

注：（削除）

様式第1

第 号
平成 年 月 日

東京学芸大学長 殿

〇〇〇学系長 印

特任教員の配置申請について

下記のとおり，特任教員の配置を申請します。

記

1. 配置を必要とする教室
2. 配置を必要とする理由
3. 特任教員採用予定日
4. 特任教員採用予定者 新規者 ・ 退職予定者（氏名） ・ 退職者（氏名）
5. 職務内容（担当業務等）
6. その他

注：4. 特任教員採用予定者欄は，該当以外のものを削除する。

様式第2 〔省略〕

様式第3

特任教員候補者選考調書

(○ ○ ○ ○ 教室)

平成 年 月 日

○ ○ ○ 学系教授会

選考委員会委員

委員長

委員

選定表

区 分	
選考基準該当条項	
賛成投票数	
選考委員会	
開催年月日	
氏 名	

様式第2 〔省略〕

様式第3

特任教員候補者選考調書

(○ ○ ○ ○ 教室)

平成 年 月 日

○ ○ ○ 学系教授会

選考委員会委員

委員長

委員

選定表

区 分	
選考基準該当条項	
賛成投票数	
選考委員会	
開催年月日	
氏 名	

選 考 調 書

ふりがな
氏名
生年月日
現住所
(国籍)

I 略 歴

- 1 学 歴
- 2 学位・称号
- 3 免許・資格
- 4 職 歴

II 研究業績

※比較的最近の研究業績のうちから、代表的なものを5点記載する。

III 教育業績

- 1 教育歴の内容
- 2 指導の状況
- 3 授業公開等の実績
- 4 作成した教科書や教材等
- 5 教育に関する執筆・発言等
- 6 教育に関する社会的貢献
- 7 教育に関する受賞等
- 8 教育に関する実務経験
- 9 その他の教育実績及び特記事項

IV 学界及び社会における活動

備考 外国人は、国籍を記載する。

様式第7～様式第10 [省略]

選 考 調 書

ふりがな
氏名
生年月日
現住所
(国籍)

I 略 歴

- 1 学 歴
- 2 学位・称号
- 3 免許・資格
- 4 職 歴

II 研究業績

※比較的最近の研究業績のうちから、代表的なものを5点記載する。

III 教育業績

- 1 教育歴の内容
- 2 職務の状況
- 3 教育上の実績
- 4 教育方法の工夫・改善
- 5 作成した教科書や教材等
- 6 教育上の能力に関する評価
- 7 教育面での社会的貢献
- 8 実務経験に関する特記事項
- 9 その他教育上の特記事項

IV 学界及び社会における活動

備考 外国人は、国籍を記載する。

様式第7～様式第10 [省略]

様式第4の1

特任教員候補者選考結果報告書

教室名	ふりがな 氏 名 (年齢)	区分	選考基準 該当条項	選考委員会		教授会		採用予定年月日
				開催年	賛成投	開催年月	賛成投票	
				月日	票数	日	数	

「年齢」は、採用予定年月日現在

様式第4の2

特任教員候補者選考結果報告書

教室名	ふりがな 氏 名 (年齢)	区分	職務内容 (担当業務等)	雇用期間	備考

「年齢」は、雇用期間開始時における年齢を記載する。

「区分」欄には、特任教授、特任准教授、特任講師又は特任助教の別を記載する。

「備考」欄には、第4条第6項により選考を省略する場合は、前回の雇用年度を記載する。

様式第4

特任教員候補者選考結果報告書

教室名	氏 名 (年齢)	区分	選考基準 該当条項	選考委員会		教授会		採用予定年月日
				開催年	賛成投	開催年月	賛成投票	
				月日	票数	日	数	

「年齢」は、採用予定年月日現在

様式第5

特任教員選考結果報告書

選考区分	所属	職名	ふりがな 氏名 (年齢)	雇用期間	備考
採用					

「年齢」は、雇用期間開始時における年齢を記載する。

(削除)

「備考」欄には、第4条第6項により選考を省略する場合は、前回雇用年度を記載する。

様式第5

教員選考結果報告書

選考区分	所属	職名	氏名 (年齢)	採用予定年月日	備考
採用					

「年齢」は、採用予定年月日における年齢を記載する。

「採用年月日」欄には、雇用期間を記載する。

「備考」欄には、第4条第6項により選考を省略する場合は、前回雇用年度を記載する。